

手話奉仕員養成講座 入門課程が閉講 12 人へ修了証を交付

1 月 25 日、令和 3 年度手話奉仕員養成講座（入門課程）の閉講式が市役所で行われ、受講者 12 人へ修了証が交付されました。

入門課程最後の講座では、各自テーマを決めて、手話でスピーチを披露できるまでとなり、講師からお褒めの言葉をいただきました。

来年度は、基礎課程の開催を予定しています。引き続き技術向上に努めていただき、田村市登録手話通訳者として活躍されることを期待しています。



隣サポーター養成 地域の支え合い活動応援講座 12 人へ修了証を交付

1 月 26 日から計 4 日間、地域の支え合い活動応援講座が開かれ、それぞれの科目を修了した 12 人へ修了証が交付されました。講座では、活動に必要な知識や技術を、ボランティアセンターや臨床心理士、田村自動車教習所などから学びました。

受講者は、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支え合いの地域を目指して、熱心に受講していました。

隣サポーターは、新たな地域の支え合いの活動の担い手として、個々の持つ力を生かし、高齢者へゴミ出しなどの軽度な生活支援や地域の居場所づくり、移動支援などの活動を行っています。



百歳賀寿 末永くお元気で

船引町長外路の佐藤ユイ子さんが、1 月 30 日に満百歳を迎えられました。

菊づくりが趣味で、毎年文化祭に出品するのを楽しみにされていたそうです。

長寿の秘訣は「好き嫌がなく、なんでも食べること」だそうです。

福島県、田村市、田村市社会福祉協議会などから賀寿や祝金などが贈られました。



史談会 広瀬大越城と大越鳴神城との関係を学ぶ

2 月 5 日、船引公民館で船引地方史研究会主催の「発掘調査にみる広瀬大越城と大越鳴神城との関係」と題した史談会が開かれ、27 人が参加しました。

講師は市教育委員会の逸見克己専門員が務め、発掘調査から分かったそれぞれの城の特徴などを解説しました。参加した皆さんは、講師の説明を真剣に聞いていました。



コミュニティ助成事業 宝くじの助成金で盆踊り用和太鼓を整備

船引町の上町行政区は、宝くじの助成金を活用し、経年劣化で損傷が大きい盆踊り用和太鼓を新たに整備しました。

コミュニティ助成事業…上町行政区が活用した宝くじ助成は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目指すものです。コミュニティ助成事業の内容は総務部経営戦略室 ☎81-2117 へお問合せください。



ツキノワグマ対策会議 連携体制で警戒強化 出没時の対応を学ぶ

1 月 20 日、1 市 2 町（田村市、三春町、小野町）によるツキノワグマ対策会議が船引公民館で開かれ、田村警察署、福島県猟友会田村支部・小野支部の会員が出席しました。

昨年、田村地域で初めてツキノワグマが捕獲されて以降、目撃情報が複数寄せられたことから、関係機関の連携体制を築き、警戒を強化することを話し合いました。また、当日はツキノワグマの大きさや生態、出没時の対応について研修を行いました。



少年軟式野球 オール田村が全国大会初出場で初優勝！

田村郡内の小学 6 年生で結成された「オール田村」が 1 月 8 日から 10 日に千葉県で開かれた、第 5 回 CBS 少年軟式野球「6 年生選抜大会」に初出場し、初優勝しました。

同 21 日、市内代表選手の久保田秀虎君（船）、三浦岳人君（船）、鈴木悠斗君（船）、秋元 尊君（船）、平澤翔君（常）、郡司隆聖君（常）、添田宏輝君（常）が市役所を訪れ、全国大会優勝を報告しました。

所属チーム 船：船引スポーツ少年団野球クラブ
常：常葉アトムズスポーツ少年団



文化財防災訓練 堂山王子神社で防災訓練

1 月 23 日、第 68 回文化財防火デーに伴う防災訓練が船引町門沢地区にある国指定重要文化財堂山王子神社で行われました。

地域住民、消防団員、消防署員ら約 50 人が参加し、通報や放水などの訓練を行い、消火活動の手順を確認し文化財保護への意識を高めました。

1949 年（昭和 24 年）1 月 26 日に法隆寺金堂壁画が焼損したことを契機に文化財防火デーが制定され、1 月 26 日を中心として全国各地で文化財施設の防火・防災訓練が実施されています。

